

2019年8月29日

各 位

株式会社玄海インベストメントアドバイザー
代表取締役 文 智勇

霞ヶ関キャピタル、SBI ソーシャルレンディングとの アパートメントホテル開発における覚書締結のお知らせ

弊社は、霞ヶ関キャピタル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：河本幸士郎、以下「KSM」といいます。）およびSBI ソーシャルレンディング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：織田貴行、以下「SBISL」といいます。）との間で、アパートメントホテル開発における業務提携に関する覚書を締結いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本契約の背景及び目的

SBISL 及び弊社の 2 社は、これまでソーシャルレンディング（注 1）を活用した協業ローンファンド（愛称：「かけはし」、「かがやき」）を組成し、累計で約 253 億円（2019 年 7 月末時点）の融資を行い、再生可能エネルギーの普及に貢献してまいりました。今回 2 社に加えて、不動産の有効活用に関して幅広い知見とノウハウを有する KSM が新たに参画し、3 社で不動産分野、特に、宿泊施設の充実による観光産業の発展を企図としたアパートメントホテル（注 2）開発において、ソーシャルレンディングを活用した新たな資金調達スキームを開始することとなりました。各社の主な役割は以下の通りです。

SBISL：ソーシャルレンディングの仕組みを用いた融資の検討

KSM：ファンド組成等を通じた投資対象案件に係る資産の取得

弊社：投資対象案件のソーシング業務及びファイナンシャル・アドバイザー業務

これにより、弊社及び SBISL はアパートメントホテル開発及び資金提供の機会を、KSM は今後設立するファンドに向けた良質な開発案件の獲得機会を得ることが期待されます。本覚書は、KSM、SBISL 及び弊社が相互の成長に最大限寄与することを目的として、各自が有する金融・不動産取引等に関する高度な専門知識及びノウハウを提供することを通じて、アパートメントホテル開発に関して、それぞれの事業機会の拡充と、各当事者の利益の実現を図ることを目的とするものであります。

弊社は、これまで再生可能エネルギー事業としては、投資実行額約 630 億円・約 130 メガ、不動産投資事業（アドバイザー含む）では約 150 億円の実績を積み上げて参りました。今回の覚書締結を機会に、これまでの再生可能エネルギー事業、不動産投資事業（レジデンス等）に加えて、新しい

アセットタイプを案件対象に加えて新たな一步を踏み出し、本取組を通じてオルタナティブ案件投資の幅を広げノウハウを蓄積し、同分野でのより一層の専門性を高めていきたいと考えております。



左より、

弊社代表取締役：文 智勇

KSM 代表取締役：河本 幸士郎

SBI ホールディングス株式会社 代表取締役社長：北尾 吉孝

SBISL 代表取締役：織田 貴行

(注1) ソーシャルレンディングとは、「お金を投資したい人（投資家）」と「お金を借りたい人（借手）」を、インターネットを通じて結びつける新しい金融サービスであり、フィンテック分野の中でも急速な拡大を見せている金融仲介の新たな形として注目されています。

(注2) 「アパートメントホテル」とは、宿泊特化型ホテルと同程度の主要インフラとの近接性を持ち、家具・家電付賃貸マンションと同程度の居住空間（水回り（キッチン、バス、トイレ）、設備（テレビ、冷蔵庫、洗濯機）及び家具（ソファ等））をリーズナブルな価格帯で利用者に提供することにより、中長期利用者にも対応できる柔軟性を兼ね備えたホテルのことをいいます。

以 上

<お問い合わせ先>

玄海インベストメントアドバイザー株式会社

電話番号 03-6206-3437